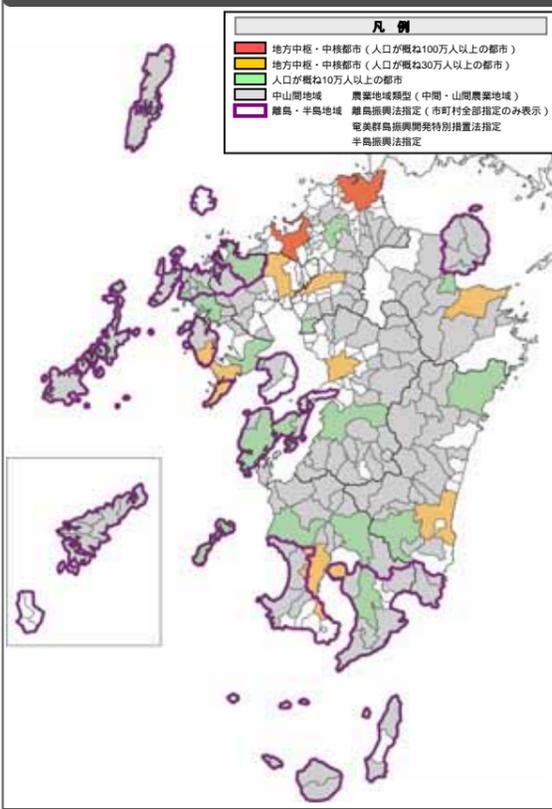


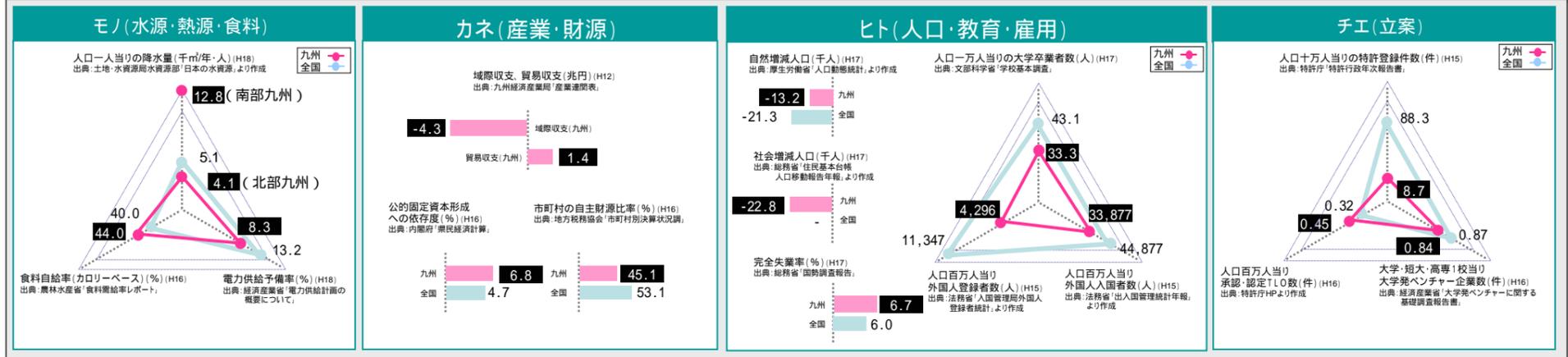
参考資料3 他の検討小委員会の検討状況等について

自立的発展を目指す検討小委員会における検討状況等について

九州圏を取巻く状況について



指標でみる九州圏の自立について

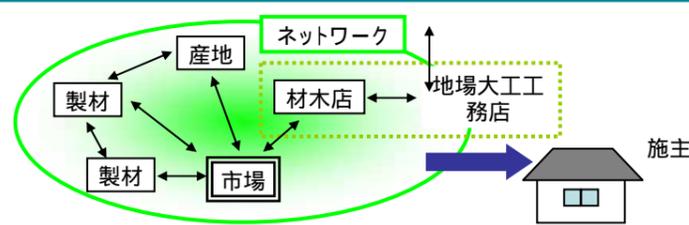


ゲストスピーカーからの提言

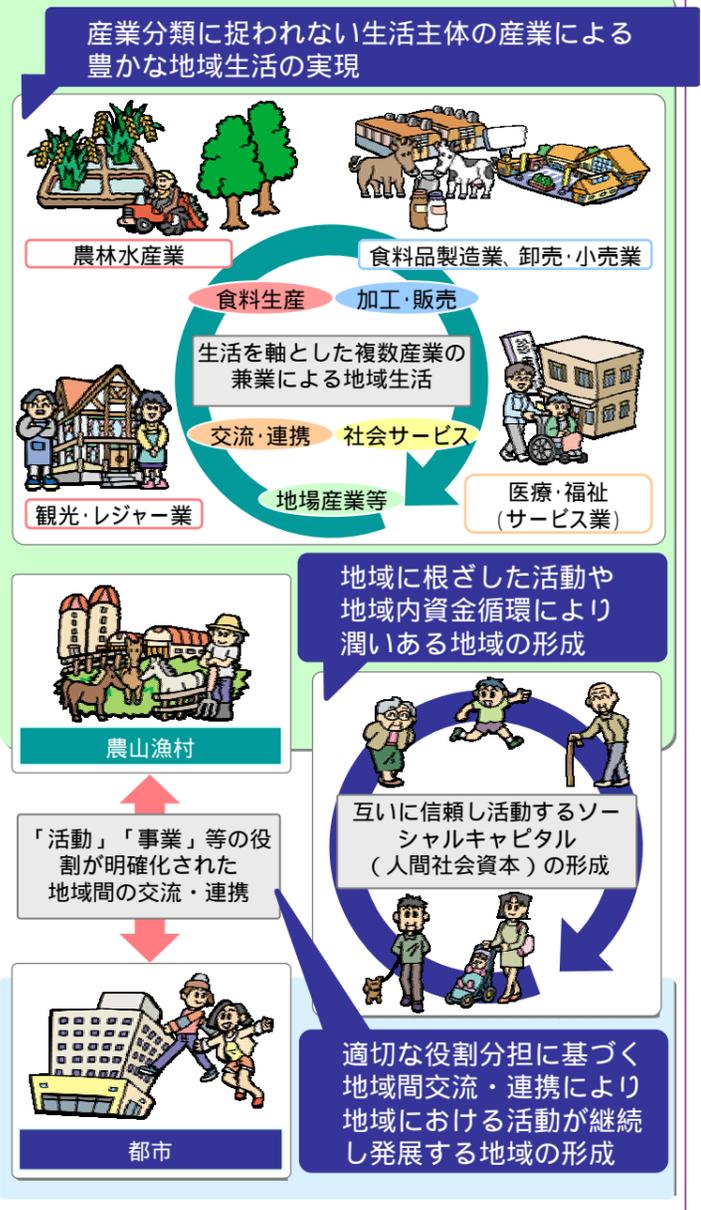
「自立した地域社会に向けて～顔の見える産業を考える」
松下生活研究所 代表 松下 修 氏

- ・地域内循環を考える
 - ・ソーシャルキャピタルの重要性の認識
 - ・農林産物の商品化だけでなく流通を目指す
- 「顔の見える産業」による地域の自立的発展

顔の見える木材流通と家づくりの構築イメージ



これまでの議論で見えてくる将来イメージ



自立的発展における基本的整理

検討の視点

九州圏の置かれている状況を地域自らが考え解決する地域:
九州圏のそれぞれの地域が、九州圏の置かれている状況を自ら考え解決することを前提とし、地域の自助努力、主体的・総力的な取組み等により、地域の活性化を図る視点

自立と連携による持続可能な地域:
それぞれの地域が将来展望を有し、就業機会や社会的諸サービスを継続的に確保することで人の流れや経済の動き等を近づけるとともに、これら地域の互恵により九州圏の総合力が一層活性化するという好循環を生み出す視点

様々なライフスタイルを実現する地域:
多様化する価値観の中で様々な主体が目的を相互に共有して社会参画し、緩やかに連携しながら活動を継続することを促すような、新たな地域経営の形成を図る視点

議論の進め方

自助努力による地域づくり(第2回議論)

・九州圏のそれぞれの地域が、九州圏の置かれている状況を自ら考え判断し、持続可能な地域を形成するための議論

自立と連携による地域づくり(第3回議論)

・それぞれの地域が人、モノ、情報等の相互に補完、連携し、持続可能な地域を形成するための議論
他の論点は必要に応じて議論

9つの論点

- 論点1 東アジアにおける九州圏の自立と連携
- 論点2 地域資源の発掘、再評価、磨きによる地域力の結集
- 論点3 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成
- 論点4 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開
- 論点5 自立的な地域の機能補完的・戦略的な連携
- 論点6 維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択
- 論点7 多様なライフスタイルを実現する交流・連携と定住の促進
- 論点8 住民主体の発意・活動による自助努力による地域づくり
- 論点9 地域の子育て力の強化

主な議論の内容

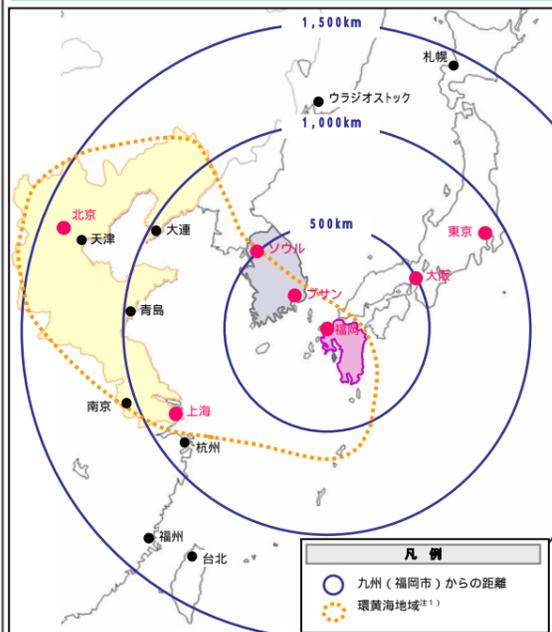
- 地域づくりの取組みは経済が根付きにくい
- ・地域資源を使っていかに地域に資金を残すか
- 中山間地域、中小都市の存亡が課題
- ・地域社会の継続が困難な地域は、自ら考え判断する動きにどう向かわせるか
- 農林水産業の所得は低く高齢化も進む地域を継続させる産業の議論が必要
- ・第2、第3の仕事地域資源を使っていかに成立させていくか
- ・離島を含めた中山間地域等の安定収入を実現するには「個別産業論」から「生活産業論」に転換すべき
- 地域社会の担い手は地域への定着が必要
- ・都市と農山漁村を結びつける取組みは、経済活性化に結びつく「事業」と経済に直接結びつかない「活動」に分ける時期

次回議論

活力ある経済社会を目指す検討小委員会における検討状況等について

九州圏を取巻く状況について

九州圏と東アジアの地理的接近性
経済的な結びつきが強まる環黄海地域

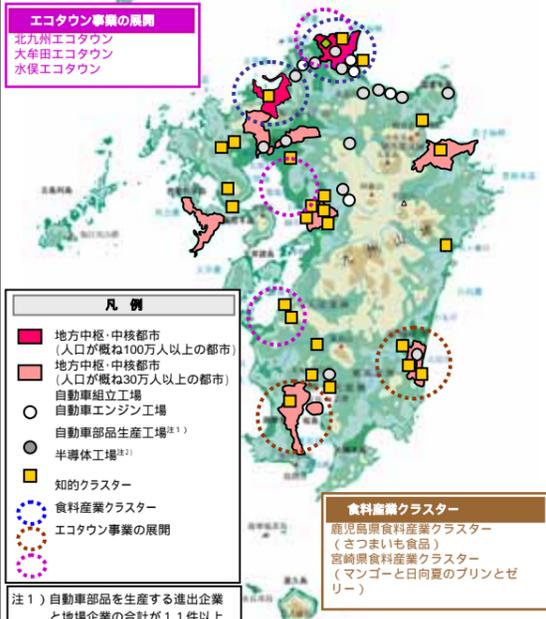


注1) 環黄海地域：
日本（九州）
中国（遼寧省・河北省・山東省・江蘇省・北京市・天津市・上海市）
韓国（京畿道・忠清南道・全羅北道・全羅南道・慶尚南道・仁川市・大田市・光州市・釜山市）

九州圏の状況について

知的クラスター創成事業
福岡システムLSI設計開発クラスター
北九州ヒューマンテッククラスター

産業クラスター計画（九州全域）
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）
九州シリコン・クラスター計画



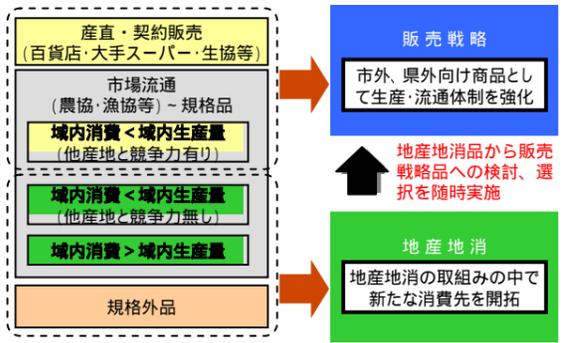
注1) 自動車部品を生産する進出企業と地場企業の合計が11件以上の市町村を表示
注2) 半導体デバイス（前工程）、フラットパネルディスプレイ、シリコンウエハに関するメーカーを表示

ゲストスピーカーからの提言

「活力ある経済社会を目指す九州圏がやるべきこと」
財団法人ながさき地域政策研究所
常任理事 菊森 淳文 氏

- 「九州圏」戦略の明確化
- ファームランド（高付加価値農業化）
- フードランド（安心・安全な食の提供）
- 観光ランド（豊富な地域資源を活かした観光基地化）
- 地域ブランドの確立

地域ブランドの確立における販売戦略と地産地消の考え方



競争力 = 商品の品質・価格・ブランド等他地域商品との比較優位性
規格外品 = 大きさ・計上・季節・魚種等の点で市場流津に乗らないもの

これまでの議論で見えてくる将来イメージ

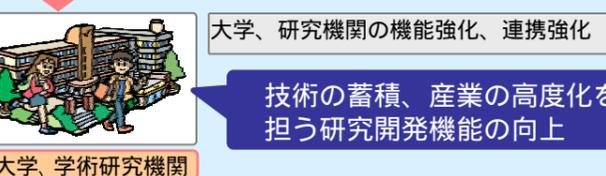
地理的条件や集積産業が担ってきた役割から
国内外の企業の自発的な立地等を促す九州圏



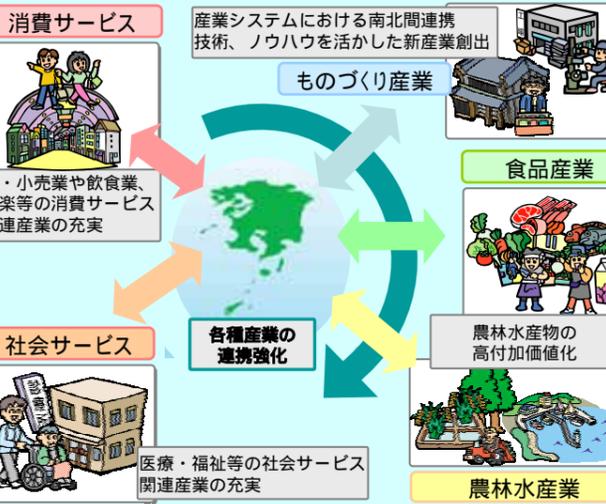
これまでの産業集積から
横断的分野、新産業への展開



環境、バイオ、情報等の産業への
重点化等による国際競争力の向上



地域を維持する上で重要な社会サービス関連
産業への転換や地域産業の強みによる地域活性化



活力ある経済社会における基本的整理

検討の視点

東アジアの中での九州圏の個性と魅力の創出：
経済成長の著しい東アジアと隣接する九州圏として、東アジアとの交流・連携を深め、東アジアの中で個性と魅力を創出し、発展を目指す視点
自立的な発展を形成する地域力の結集：
地域特性、伝統文化等の地域特有の魅力を活かした産業の創出、振興を目指し、それらが相まって九州圏の総合力が向上・活性化するという好循環を生み出す視点

議論の進め方

九州圏の産業振興と発展（第2回議論）

- 東アジアにおける著しい経済成長と連動しながら自立的な発展を実現するための議論
- 九州圏における産業発展の方策に関する議論

産業振興を支える環境の構築（第3回議論）

- 九州圏の産業振興を支える人材、産業構造等の産業を取巻く環境に関する議論
- 他の論点は必要に応じて議論

8つの論点

- 産業集積を活かした新たな産業展望
- 新産業を核とした産業振興
- ものづくり基盤の強化
- 観光資源等による魅力創出
- 東アジアの玄関口としての社会基盤の整備
- 持続的な成長を牽引する都市圏の形成
- 多種多様な人材が集積する産業構造の形成
- 農林水産業等の地域を支える産業の振興と安定的発展

主な議論の内容

- 産業集積を活かした新たな価値の創造
 - 自動車産業と半導体産業の融合やそれらの技能・ノウハウを活かした環境問題解決型の産業振興等の新たな視点が必要
- 企業進出上の九州圏の位置づけの明確化
 - 国内外を見据えた九州圏への企業進出、マザー工場化などの優位性を確認すべき
- 環境、バイオ、ICT等の成長産業の育成
 - 環境・バイオ・情報等はこれからの成長産業として重要
 - 静脈物流や新産業創出における情報（コンテンツ）の重要性を認識すべき
- 研究開発機能の強化
 - 大学を含めた研究開発機能を強化すべき
- 地域を支える産業振興
 - 経済を支えてきた中核企業も議論すべき
 - 地域産業は衰退しても技術を活用した新産業の創出は可能
 - 建設業等の構造転換や水産業の販路拡大等も検討すべき

各検討小委員会の論点整理から見える九州圏の将来イメージ

九州圏の課題への対応の方向性 (「キックオフレポート骨子案構成図(案)」より)	検討小委員会 における論点
(1) 東アジアの中での九州圏の個性と魅力の創出 東アジアとの結びつきと九州圏産業の強化 ・産業集積を活かした新たな産業展望 ・新産業を核とした産業振興 ・ものづくり基盤の強化 東アジアに開かれた交流・連携の推進 ・東アジアにおける九州圏の自立と連携 ・観光資源等による魅力創出 東アジアの玄関口としての圏土構造の転換 ・東アジアの玄関口としての社会基盤の整備	活力 活力 活力 自立 活力 活力
(2) 自立的な発展を形成する地域力の結集 それぞれの地域独自の魅力を活かした地域の形成 ・地域資源の発掘、再評価、磨きによる地域力の強化 多様な機能が集積する都市と自然豊かな地域の 互恵関係の形成 ・持続可能で暮らしやすい都市圏の形成 ・美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開 ・自立的な地域の機能補完的・戦略的な連携 ・維持・保全が危ぶまれる集落における将来選択 持続的な成長を実現する九州圏の形成 ・持続的な成長を牽引する都市圏の形成 ・多種多様な人材が集積する産業構造の形成 地域を支える産業の振興と安定的発展 ・農林水産業等の地域を支える産業の振興と安定的発展	自立 自立 自立 自立 自立 活力 活力 活力
(3) 災害に強く暮らしやすい九州圏の形成 減災の観点を重視した災害対策の推進 ・近年の気象変動等に備えたハード対策の推進 ・減災の観点を重視したソフト対策の推進 日々の暮らしを支える安全・安心の確保 ・安全・安心を確保する九州圏の圏土構造の形成 ・中山間地域、離島等におけるサービスの確保 ・安全・安心な食を支える九州圏の継承	安全 安全 安全 安全 安全
(4) 世界に誇れる美しい九州圏の形成と継承 循環と共生を重視した美しい九州圏の形成 ・多様で美しい調和の取れた九州圏の保全と継承 ・国際的な環境問題への取り組み 美しい九州圏を支える水循環系の形成 ・流域圏における健全な圏土利用と水循環系の構築 ・海洋・沿岸域圏の総合的な利用と保全	安全 安全 安全 安全
(5) 多様なライフスタイルを実現する地域づくり 多様なライフスタイルを実現する取り組みの推進 ・多様なライフスタイルを実現する交流・連携と定住の促進 ・住民主体の発意・活動による自助努力による地域づくり ゆとりある子育て環境の創出 ・地域の子育て力の強化	自立 自立 自立

導き出される3つの九州の将来イメージ

東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成

自然と共生し美しく暮らしやすい九州圏への再構築

多様で厚みのある活力あふれる九州圏の形成

東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成

- 東アジアをはじめとする諸地域との交流連携の推進
- 東アジアの中での地域の個性と魅力、国際機能等を捉え直していく
- 重要性高まる東シナ海の活用や諸問題の解決に向けた広域的な取組の推進 など

東アジア成長を意識し自立的に発展する圏土構造への転換

多様で厚みのある活力あふれる九州圏の形成

- ブロックの成長のエンジンとなり得る都市及び産業の強化を促進
- 相互依存・補完関係にあるブロック内の各地域が互いに交流・連携を促進
- 安心して住み続けられる生活主体の産業・活動環境の創造
- 各地域において多様な主体の共同を促進
- 経済力だけでなく文化面や社会面を含めた地域力の結集 など

九州圏内で多様で厚みのある活躍の場の形成と活力の創出

自然と共生し美しく暮らしやすい九州圏への再構築

- 自然豊かで歴史文化を育む地域や都市のにぎわいなど多様で特色ある地域の形成
- それぞれの魅力を発揮し、相互に補い合って重層的に圏土を形成
- 地域間の互恵関係を維持発展
- 良好な自然環境や美しい景観の形成
- 安全かつ快適でゆとりある生活空間の形成
- 高齢化社会等に柔軟に対応した暮らしへの取組みの推進
- 環境負荷の低減 など

安全・安心で環境へ配慮した暮らしやすさを兼ね備えた圏域の形成

